

生活のしやすさに関する質問票

記入日: ID: 氏名:

1. 気になっていること、お困りしていることをご記入ください。□にチェックを入れてください

□ 症状や治療についての情報・説明
□ 総合的問題
□ 日常生活の状況(食事・家事・仕事など)

2. からだの症状についてお聞かせください

1)以下の症状が一番強いときは、どのくらいでしたか？数字に□をつけてください

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
寝つき一苦しいとき	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
寝つき一寝つき	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
しづれ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お腹の張り	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お腹の痛み(少し痛い感じ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
だるさ(つかれ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
足のむくび(腫れ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
食欲不振	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
嘔気	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

2)以下の症状はありましたか？□にチェックまたは□に記入ください

嘔吐 □なし □1回/日 □2~5回/日 □6回以上
黄疸 □なし □あり
嘔気 □よく嘔れる □時々起きるがたまに嘔れる □嘔れない
口の中の痛みや不快感 □なし □あるが改善済み □食事の工夫が必要
便の回数 □毎日 □1回/2~3日 □4回/4~5日 □1回/週
便の性状 □硬い □普通 □やわらかい □下痢
その他 []

3)現在からだの症状はどの程度ですか？□に記入ください

4)1日を通して症状の変化はどのパターンに近いですか？(一番困っている症状についてご記入ください)
生活のしやすさに関する質問票
総合ケア委員会 2022.4
発行 2023/1/18 12:53

当院の緩和ケアチームに携わって1年が過ぎました。当院緩和ケアチームでは昨年、厚生労働省が推奨している『生活のしやすさに関する質問票』(以下「質問票」)の改定を行いました。この「質問票」は患者さんのさまざまな困りごとを明確化するために、患者さん自身が選択でき、納得して暮らせるようになっていくことを目指しています。

この改定版では、これまでの「質問票」に比べて、より多くの項目が追加され、より細やかな対応を可能にするため、医師を含めた多職種による緩和チームが患者さんの元へお伺いし、身体や心情の辛さを和らげるための支援活動を行っています。

患者さんが自分自身のことを自ら選択でき、納得して暮らせるようになっていくことを目指す。まずは、外来看護師三宅までお知らせください。

1) ほんの少しの症状がない
2) 症状はほとんどない
3) 症状から強い症状があり、日々の間に多くなったりする
4) 強い症状がある、1日中続く

5) 日常生活でつかれを感じるのではなくですか？□にチェックをつけてください
□食事 □排泄 □更衣 □入浴 □料理 □洗濯 □掃除 □買い物
※具体的には記入ください
□粒 □粉蒸 □液体の薬 □貼り薬
□栄養面についてお聞きします。当てはまるもの□をしてください
①体重減少がありましたか？ はい・いいえ ②食欲がありますか？ はい・いいえ
③嗜好の変化がありましたか？ はい・いいえ ④栄養補助食品について試食を希望されますか？ はい・いいえ

6) 食事についてどんなものをどれくらい食べていますか？
□水分はどうらいでていますか？
□500ml未満 □500ml~1000ml □1000ml~1500ml □1500ml以上

3. 気持ちのつらさについてお聞きします
1)この1週間の気持ちのつらさを平均して最も当てる数字に□をつけてください
つらさはない 中からつらさがある
2)その気持ちのつらさのためにこの1週間どの程度日常生活に支障がありましたか？
支障はない 中から支障がある
3. 症状よるからだやこころのつらさを和らげるための相談を希望しますか？
4. 経済的な問題や日常生活の心配に対する医療ソーシャルワーカーの相談を希望しますか？

生活のしやすさに関する質問票
総合ケア委員会 2022.4
発行 2023/1/18 12:53

当院だからできる緩和ケアのかたちを探して

外来看護2科 三宅和子

しやすさに関する質問票(以下「質問票」)の改定を行いました。この「質問票」は患者さんのさまざまな困りごとを明確化するために、患者さん自身が選択でき、納得して暮らせるようになっていくことを目指す。まずは、外来看護師三宅までお知らせください。

緩和ケアというと、なんとなくがん患者さんの苦痛をとることと思われがちですが、それだけではありません。がんでなくとも呼吸器疾患や心疾患をお持ちの方など、すべての方が対象となります。当院では緩和ケアが必要な方を対象に、医師を中心とした多職種による緩和チームが患者さんの元へお伺いし、身のことを自ら選択でき、納得して暮らせるようになっていくことを目指す。まずは、外来看護師三宅までお知らせください。

研修病院説明会イベントに参加（病院見学、随時受付中です！）

7月2日(日)に、インテックス大阪にて開催された「民間医局レジナビフェア2023大阪」という、研修病院説明会に出展してきました。このイベントは、研修先病院を探している医学部・研修医向けに、全国の臨床研修病院がそろって、自院の研修内容について説明するものです。

当院の説明ブースには、24名の医学生が来訪しました。研修医・専攻医・指導医から、研修の特徴や魅力を伝え、ぜひ病院見学にお越しくださいと声かけをしました。この会場で出会った学生さんと、また当院で再会できるなど感じています。

水島協同病院では、医学生の病院見学を随時受け付けています。周りに希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介ください。（医師研修・医学生支援室 松田萌）



心のこもったきめ細やかな応対をモットーに

医療事務2課は、当院入院棟の1階受付に部署があります。ここでは若手からベテランまでバランスよく構成された10名の医事課職員が働いています。そして中堅職員を中心に、若手職員が何でも気軽に話しかけられます。

当課では窓口での受付から会計、病棟への案内、診断書や証明書の大切な文書の受け渡しといった入退院に関する役割だけでなく、（医療事務2課 福島文子）

入院治療費のご相談や保険証関係のこと、その他気になることがありましたら、遠慮なく医療事務職員までお声かけ下さい。

（お答え） 謝辞（謝辞） 投函場所・病院3階 夜勤勤務の看護師さんがまことに巡回してくれて、対応もすばやくしてくれて、助かったし、心強かつた。

ございます。

夜間スタッフが少ない中、対応も遅くなりご不便をかけたこともあるかもしけれど、せんがこれからもなるべく早く患者様の対応をしていけるよう頑張っていきます。

看護部長室